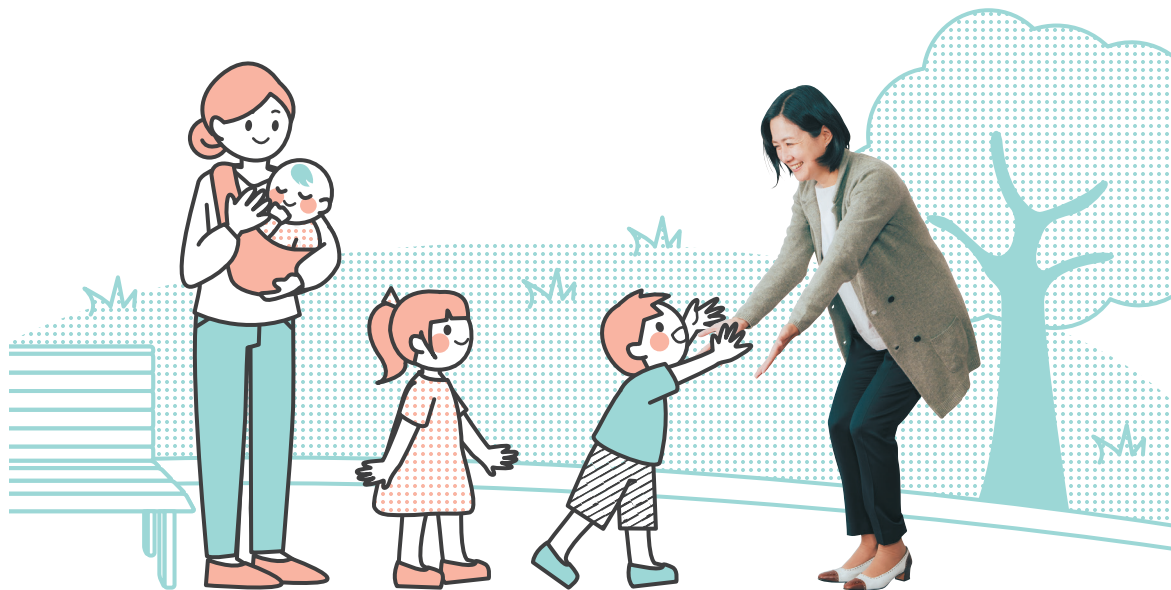


Q

よく聞く「子育て支援」って
どんな施策？経済効果はある？

子育て支援策がもたらす影響を解明中。 育児しやすい社会に向けた制度設計を！



国と地方自治体による子育て支援策。 居住地域ごとに対応が異なり、不平等感も。

子育て支援策の中には、児童手当のように国が主導する制度の他に、子ども医療費助成制度や保育所の設置など、地方自治体が行う施策があります。地方自治体の場合、住んでいる地域による格差が生じるといふ課題がある一方、実態に即したよりきめ細やかな対応が迅速にできるという利点も。子育て支援策の最大の狙いは、子どもを産みたい、育てたいと思える社会をつくり、少子高齢化に歯止めをかけることです。しかし、さまざまな支援策が実際のどのくらい出生率向上に結びついているかということについては、まだ確かなエビデンスがなく、検証が必要です。私たちのゼミでは、地方自治体の政策について、その社会的影響や効果について、経済学的手法を用いて研究しています。

実体験から抱いた素朴な疑問がテーマに。 積極的に育児と向き合える社会づくりを。

大学の研究と聞くと、国や世界など、スケールの大きさに気後れしてしまう人も多いかもしれません。しかし、子育て支援策のように、近い将来、自分が直面するかもしれないテーマや暮らしの中で抱く素朴な疑問など、身近な課題が研究の第一歩になります。大学院時代から、地方自治体の政策に関する研究を行っていた私が子育て支援策の研究に取り組みきっかけとなったのも、自分自身が働きながら出産・子育てをしてきた経験がベース。それぞれの支援策に対して、どのように財源を分配するかなど、いかに効率的に出生率を上げ、出産・育児に対して積極的に向き合える社会をつくれるか。そのために必要な制度設計を考えていきたいです。

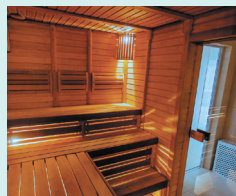


宮本 由紀 先生

Miyamoto Yuki

勉強嫌いだった高校時代。迷いながら大学へ進学したものの経済学を学ぶ中で、等身大の課題を突き詰め、思考を整理していく面白さを体感。研究職を続けながら出産・育児を経験したことが、現在の研究に結びついています。

「コロナ禍になって
始めたもの・
ハマったもの」



サウナで心も身体も リラックス。

コロナ以前の楽しみだった「お一人様」の外食が叶わなくなり、夫の勤めでサウナへ行くようになりました。入浴、サウナ、水風呂、休憩のサイクルを3回ほど繰り返すのがルーティン。心身をリフレッシュできるのはもちろん、睡眠の質が向上しました。